

平成27年度 京都市交通局運営方針の総括表

基本方針・重点方針	平成27年度重点取組				
	取組名	目標	計画・条例等	実績	所属等
平成27年度は、「京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針」4年目の総仕上げとして、「攻めの経営」の一層の推進と「全国一のお客様サービスの実践」にチャレンジし、「歩くまち・京都」を支える市バス・地下鉄の交通インフラ機能の向上と、安定した経営基盤の確立に努めます。	1 お客様接遇向上と安全の徹底	①全国一のお客様サービスの実践 ②すべてのお客様に信頼される安全の追求 ＜市バス＞ ・重大事故0件 ・走行距離10万km当たりの有責事故件数について、過去最小値である平成26年度実績の10%削減 ＜地下鉄＞ ・有責事故及び輸送障害0件		<p>＜両事業共通＞</p> <p>①「全国一のお客様サービスプロジェクトチーム」を中心として、一般公募市民や専門家で構成する「市バス・地下鉄 お客様サービス向上サポート会議」による外部評価や提案を踏まえ、交通局一体となってより質の高いお客様サービスの取組を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市バス・地下鉄 お客様サービス向上サポート会議」による2回のモニタリング調査の結果、市バス・地下鉄ともに案内、応対など全ての分野で評価が向上 <p>＜市バス事業＞</p> <p>②市バスの事故件数について、走行距離10万km当たりの有責事故件数については、過去最小値である平成26年度実績の10%削減を達成することができたが、重大事故を1件発生させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全運転士に対する事故防止重点研修を実施 ・キャリア別の運転士研修を実施 ・事故防止重点強化策を実施（違法駐停車への啓発による走行環境の改善） <p>＜地下鉄事業＞</p> <p>②当局の責任によって生じる運転事故及び輸送障害は0件であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四条駅（27年10月）及び京都駅（27年12月）に可動式ホーム柵を設置 ・三条京阪出入口への止水版設置 ・烏丸線車両3編成（18両）の車内灯LED化実施 ・十条駅及びびくいな橋駅照明のLED化に着手（設計完了） 	企画総務部研修所 自動車部各課 高速鉄道部各課
	2 お客様サービス機能の拡充	①ICカードの普及促進 ②市バスおもてなしコンシェルジュ事業 ③市バス観光マップ「バスなび」（中国語・韓国語版）の作成 ④地下鉄案内サインの充実 ⑤地下鉄駅トイレのリニューアル ⑥4箇国語対応のコミュニケーション支援ボードの作成	京都市高速鉄道事業経営健全化計画 京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針	<p>①ICカードの普及促進</p> <p>＜両事業共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月からのIC定期券及びICカードによる乗継割引の導入に向け、IC定期券発行機プログラム開発に着手 <p>＜地下鉄事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改集札機のICカード対応（全187台中167台対応。残りは28年度にて完了予定） ・ICカードチャージ機能及び4箇国語表示機能付き券売機・精算機の地下鉄駅配備（10駅に配備。残り21駅は28年度にて完了予定） <p>＜市バス事業＞</p> <p>②市バスおもてなしコンシェルジュ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆様や国内外からの旅行者をはじめ、すべてのお客様に、親切・丁寧な交通・観光案内を実施 <p>③市バス観光マップ「バスなび」（中国語・韓国語版）の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に対する案内の充実を図るため、中国語及び韓国語版の市バス観光マップ「バスなび」を新たに作成・発行 <p>＜地下鉄事業＞</p> <p>④地下鉄案内サインの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅構内の案内サインを見やすく統一した表示に刷新（烏丸線3駅で実施。29年度までに全駅で完了予定） ・駅出入口地上部の駅名標を地下鉄のピクトグラムを用いた表示に刷新（全駅完了） <p>⑤地下鉄駅トイレのリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北大路、今出川駅のトイレについて、段差解消や洋式便器の設置等のリニューアルを完了 <p>＜両事業共通＞</p> <p>⑥4箇国語対応のコミュニケーション支援ボードの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客に対する的確で分かりやすい案内ツールとして、「4箇国語対応コミュニケーションボード」を市バス全車両に、40箇国語以上に対応する「翻訳機能付きタブレット端末」を地下鉄全駅及び全案内所に配備 	企画総務部研修所 営業推進室 自動車部各課 高速鉄道部各課
	3 バス待ち環境の向上	①バス接近表示器の整備加速 ②地域、事業者の協力による新たなバス待ち空間「バスの駅」の設置 ③四条通（河原町・高倉）へのバス停整備 ④広告付きバス停上屋整備事業の推進 ⑤照明・ベンチの整備推進		<p>①バス接近表示器の整備加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット環境を活用したバス接近表示器を84箇所に設置 <p>②地域、事業者の協力による新たなバス待ち空間「バスの駅」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアとの連携により、目標を大幅に上回る20箇所に設置 <p>③四条通（河原町・高倉）へのバス停整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道拡幅工事の完成に合わせて、4箇所のバス停整備を完了 <p>④広告付きバス停上屋整備事業の推進（21箇所）</p> <p>⑤簡易ソーラー式照明器具の設置（30箇所）、ベンチの設置（33箇所）</p>	自動車部技術課
	4 積極的なお客様増加策の推進	①全庁を挙げた「京都市地下鉄5万人増客推進本部」の取組の更なる推進 ②地域・企業・大学との連携による駅を拠点とした増客の取組 ③地下鉄の魅力向上とPRの促進 ④市バスの路線・ダイヤの拡充と更なる利用促進		<p>平成27年度において、一日当たりの旅客数は地下鉄が37万2千人、市バスが35万3千人と、どちらも予算の数値を大幅に上回った。</p> <p>＜地下鉄事業＞</p> <p>①「地下鉄5万人増客推進本部」の体制の下、地下鉄を核としたまちづくり、沿線での観光・集客イベントの開催、歩くまち京都の取組を核とした全庁を挙げた増客策を推進するとともに、「若手職員増客チーム」が若手ならではの増客の取組を実施</p> <p>②地域・企業・大学との連携による駅を拠点とした増客の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や事業者等の協力をいただき、駅出入口の案内表示を充実する「地下鉄道しるべ」事業を推進 ・大学や企業との連携・協力による「駅ナカアートプロジェクト」、平安女学院大学との連携による駅周辺の情報誌発行など地域の活性化及び駅周辺の賑わい創出を図る取組を推進 <p>③地下鉄の魅力向上とPRの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄・市バス応援キャラクター「太秦萌」等を活用したプロモーション動画やポスターの展開、オリジナルグッズの販売など積極的なPR活動を展開 <p>＜市バス事業＞</p> <p>④市バスの路線・ダイヤの拡充と更なる利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月に岡崎エリア内を回遊し、各鉄道駅やまちなかをつなぐ「京都岡崎ループ」を新設 ・平成28年3月には、「地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの拡充」「京都鉄道博物館が開業する梅小路へのアクセス強化」「京都駅南口駅前広場整備に合わせた路線・ダイヤの充実」を図る新ダイヤを実施 ・「岩倉、修学院地域」における利便性向上を図るため、同地域へ均一運賃区間を拡大 	営業推進室 自動車部各課 高速鉄道部各課
	5 駅ナカビジネスの展開	①「コトチカ御池」の増床開業（28年1月） ②今出川駅構内店舗の開業（27年11月） ③「コトチカ四条」のリニューアル（28年3月） ④「コトチカ京都」の拡充準備		<p>①「コトチカ御池」の増床開業（28年1月）</p> <p>②今出川駅構内店舗の開業（27年11月）</p> <p>③「コトチカ四条」のリニューアル（28年3月）</p> <p>④「コトチカ京都」の拡充準備に着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度中に増床開業予定 	営業推進室
	6 安定した経営基盤の確立	①＜市バス事業＞ ・平成27年度予算で累積赤字を全て解消し、一般会計からの任意補助金ゼロの、「自立した経営」をスタート ・「攻めの経営」で黒字経営を継続し、更に市バスの利便性を高める ②＜地下鉄事業＞ 収支改善・安定経営に向け経営健全化計画を着実に前進		<p>①＜市バス事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるお客様の利便性向上を図るなど、「攻めの経営」のより一層の推進とともに、「自立した経営」を引き続き堅持 ・1日当たりのお客様数は、前年度比1万2千人増の35万3千人 ・経営損益は、前年度並みの24億円の黒字を確保し、平成15年度以降連続して黒字を確保 <p>②＜地下鉄事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日当たりのお客様数は、前年度比1万3千人増の37万2千人となり、平成30年度の増客目標37万5千人まで残り3千人 ・開業年度以来の経営損益の黒字を計上、現金収支の黒字は過去最大の98億円に拡大し、経営健全化計画を大きく上回る収支改善 ・資金不足比率は、経営健全化基準の20%を下回るが、経営健全化出資金の繰入れなしで安定的に20%を下回る見通しが立つまで、経営健全化団体を継続 	企画総務部財務課